

平成28年度 連携・協力事業の実施状況について

教員研修専門部会

【プロジェクト名】 10年経験者研修等研修機会の多様化

1 プロジェクトの目的・概要

本事業は、平成17年1月に締結された佐賀県教育委員会との「連携・協力協定書」に基づく事業である。10年経験者研修は、教特法改正（平成14年6月）により制度化された、教職歴10年の教諭を対象に行われる研修で、対象となる教員は能力、適性等を踏まえ、指導力を向上させるために研修を受けなければならない。喫緊の教育課題への対応や最新の専門的知識・指導方法の獲得など教育における多様なニーズに応えるために、佐賀大学文化教育学部は現職教師に向けた「より高度で多様な現職研修」の実現を図ることを目的として大学において様々な講座を開設し、教員の資質と指導力の向上に取り組んでいる。

2 平成28年度の実施状況

昨年度の開設講座および受講者数は表のとおりである。

表 平成28年度・佐賀大学教育学部教員による「10年経験者研修」の実施状況

講座番号	教科等	対象校種	講座名	開催日	受講者数
U1	全教科	全校種	学校教育における情報モラル育成のためのワークショップ	8/6(土)	2名
U2	全教科	全校種	発達障害児の理解と療育方法 —自閉症児を中心に—	8/19(金)	35名
U3	全教科	全校種	ICT活用教育実践セミナー —「NHKクリエイティブライブラリ」を使った簡単動画教材—	10/22(土)	24名
U4	保健体育	全校種	小中の系統性を踏まえた体育科教育 —スポーツ文化享受能力を培う体育学習—	11/12(土)	4名

今年度は全4講座が計画され、4名の教員が8月に2講座、10月に2講座実施した。受講者は65名となり、昨年度(71名)と比較すると若干受講者数が減少している。しかし、受講後のアンケート調査から、各講座の評価は高く受講者の教育ニーズに対応した内容や、教育課題のニーズにあった講座が提供できたと考える。しかし、提供できた講座数の面では課題が継続的に残っているといえる。特に、H28年度より教育学部発足と教職大学院、芸術地域デザイン学部の新設により文化教育学部教員が分散し、教育学部教員の全体数が少なくなったため、次年度以降の研修体制について、検討を進める必要がある。

3 今後の予定等

各講座終了後の受講者アンケートを例年通りに実施し、講座内容や今後の要望等について分析し、受講者の意向を反映した講座内容の開設と充実を継続して図っていく。平成 29 年度も受講生の参加しやすい時期に、受講者のニーズの高い講座の開設を実施できるよう大学教員に積極的に働きかけを行っていく。

しかし、先に述べたような状況から、今後も可能な限り講座開設を学部教員等に依頼し、大学・学部 HP 等に新規開設講座を掲載できるよう取り組んでいく。また、多様な研修機会が提供できるように、附属学校の公開授業研究会等を活用した授業研究や授業づくりに関する研修をできるだけ多くの教科等で提供できるように計画したい。

平成 29 年度の佐賀大学教育学部での開講講座は下記のとおりです。

表 平成 29 年度・佐賀大学教育学部教員による「中堅教諭等資質向上研修」の講座一覧

講座番号	教科等	対象校種	講師名	講座名	開催日時
U1	国語	小学校	達富洋二	ここからはじまる国語の授業 ～深い学びをつくる国語授業の創造～	未定
U2	特別支援	幼小中等	松山郁夫 ※	自閉症児に対する療育支援のあり方	8/22(火) 13:00～17:00
U3	特別支援	全校種 養護・栄養	久野建夫	行動面の問題を抱える児童生徒への支援	2018 3/26(月) 13:00～17:00
U4	保健	全校種 養護教諭	栗原淳	思考力・実践力を身につける保健の 授業づくり	11 月予定

※教職大学院教授